

様式第6号(第18条関係)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和5年5月29日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市大字田吉5730-3
名 称	赤江地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名	会長 佐藤 正信
電 話 番 号	(0985)51-5122

令和4年8月30日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

1. 事業実施報告・収支決算書
2. 事業別収支計算書
3. 積立金管理状況報告書
4. 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
5. 赤江地域まちづくり推進委員会備品管理台帳写し
6. 赤江地域自治区地域協議会意見書

(様式第5号)

令和4年度 事業実施報告・収支決算書

赤江地域自治区

赤江地域まちづくり推進委員会

1 統括

今年度も引き続きコロナ禍の中での事業となったが、昨年度からの教訓を活かして開催日の変更をするなどの対応をし、全事業を無事開催することができた。

また、自治会連合会に協力を要請した事業やまちづくり事業に参加していただいた宮崎農業高校のイベントに参加するなど、各種団体と連携し活動することができた。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
基礎交付金	3,960,420	3,960,420	0	
特例交付金	9,010	9,010	0	
繰越金	1,030,570	1,030,570	0	
合計	5,000,000	5,000,000	0	

(2) 支出の部

(単位：円)

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	青パト活動支援及び防犯活動事業	12年目	200,000	126,910	73,090	
防	防災かまどベンチ事業	2年目	300,000	288,901	11,099	
防	安全に関する訓練及び講座事業	11年目	130,000	129,624	376	
防	災害救助資機材等設置事業	10年目	40,000	36,229	3,771	
福	子育て応援事業	3年目	50,000	31,618	18,382	
環	あかえ散策ふれあい事業	1年目	150,000	34,966	115,034	
伝	あかえ寺子屋事業	8年目	250,000	111,845	138,155	
他	広報誌「人・夢・あかえ」の発行事業	14年目	600,000	763,321	163,321	
他	カレンダーを作ろう事業	5年目	260,000	238,569	21,431	
他	地域掲示板設置事業	5年目	400,000	381,596	18,404	
他	食でつなぐわくわく事業	1年目	170,000	71,996	98,004	
他	熱気球から地域を眺めよう事業	2年目	730,000	503,595	226,405	
他	番屋跡保存に向けた調査事業	1年目	540,000	58,505	481,495	
他	まちづくり活動支援事業	13年目	1,180,000	1,095,361	84,639	
	合計		5,000,000	3,873,036	1,126,964	

3.実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

ア

事業名	青パト活動支援及び防犯活動事業	実施年数	12年目									
事業期間	開始：平成23年度	終了：	年度									
地域魅力発信プランとの関連	安心して暮らせるまちに沿った事業である。											
目的 (期待される効果)	青パト活動の支援事業と隊員の募集活動を行う。 地域安全確保のための地域防犯活動を実施。											
事業内容・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も新型コロナウイルス感染拡大の為、4月・5月は活動を自粛した時期もあったが、何とか継続してパトロールができた。 ・現在活動中のあかえ青パト隊の燃料費(9月・3月の年2回)、ボランティア保険料の補助などの活動支援。 											
事業費	126,910円											
対象者	赤江地域住民											
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録隊員数</td> <td>32人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>巡回回数</td> <td>256回</td> <td>113回</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	登録隊員数	32人	38人	巡回回数	256回	113回
年度	令和4年度	令和3年度										
登録隊員数	32人	38人										
巡回回数	256回	113回										
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>アンケートは行っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中、夜間と二班に分かれ活動されており、犯罪に対する抑止に寄与した。 											

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	青パトのパトロール活動は防犯の抑止になっているので地域のニーズはある。	広報	事業の周知	A	A	青パト隊によるパトロール活動。	
	住民の参加	A	A	地域住民・地域内の病院関係者が青パト隊として活動している。			事業の効果	課題解決への作用	B	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A		事業の必要性	住民の満足度			A	A
	各種団体との連携	A	A	青少協との連携あり。			事業継続の必要性	有		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青パト隊結成時の隊員が高齢化で脱退される方が増加している。 ・コロナ禍でもパトロールする隊員もいて、赤江地域での大きな事件・事故の発生はなかった。 								
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（ 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>					対応		未・済	
		<p><地域協議会からの意見（ 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>					対応		未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

イ

事業名	防災かまどベンチ事業	実施年数	2年目																
事業期間	開始： 令和3年度	終了：																	
地域魅力発信プランとの関連	安心して暮らせるまち、 災害に強い安心のまちに沿った事業である。																		
目的 (期待される効果)	学校や地域の人が協力して製作することにより、防災意識が高まり、より一層の地域コミュニティづくりにつなげる。																		
事業内容・手段	<p>赤江地域自治会連合会、学校近隣自治会、赤江地区社協等各種団体に声かけ、赤江中学校の関係者、PTA、最寄り学校協力として宮崎農業高校環境工学科の生徒等、(一社)宮崎県建築士会宮崎支部の協力のもと、防災かまどベンチを製作する。</p> <p>また、当日炊き出しステーションを利用し、宮崎農業高校生活文化科の生徒達の協力で参加者に生徒手作りオリジナルカレーを振る舞う。</p> <p>R5年2月19日には防災かまどベンチ完成後火入れ式も実施した。</p> <p>・月 日 11月23日(水・祝日)</p> <p>・場 所 宮崎市立赤江中学校グラウンド</p> <p>・指 導 一般社団法人宮崎県建築士会宮崎支部</p>																		
事業費	288,901円																		
対象者	赤江地域住民																		
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>火入れ式</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者 (建築士会含む)</td> <td>4人</td> <td>52人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11人</td> <td>13人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>15人</td> <td>65人</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	火入れ式	令和4年度	令和3年度	参加者 (建築士会含む)	4人	52人	39人	スタッフ	11人	13人	21人	合 計	15人	65人	60人
年 度	火入れ式	令和4年度	令和3年度																
参加者 (建築士会含む)	4人	52人	39人																
スタッフ	11人	13人	21人																
合 計	15人	65人	60人																
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時にとっても役立つと思いました。いい体験した。 ・「防災かまどベンチ」という言葉は、聞いたことがあったが、今回作る工程から携われたことで、防災について関心を持つことができました。 ・初めての参加で色々と参考になりました。 ・実際に製作に従事でき有意義でした。 																		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	災害時、地域住民の食を確保するため。	広報	事業の周知	A	A	広報誌による告知、各種団体に会議等呼びかけ、事業の周知を図った。
	住民の参加	A	A	自治会連合会、赤江地区社協、学校関係者、宮崎農業高校等に呼びかけ多くの方に参加していただいた。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	学校、地域住民とともに防災意識を高める為には、非常に有効な事業であると考ええる。	住民の満足度				A
	各種団体との連携	A	B	赤江地域自治会連合会、赤江地区社協、近隣自治会、学校、PTA、建築士会、宮崎農業高校等。			事業継続の必要性		有
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災かまどベンチ製作は、学校関係者（教職員、生徒、PTA）地域住民、近隣高校の宮崎農業高校生徒の方に参加いただいた。 ・地域連携活動として更に多くの各種団体と計画段階から交流していきたい。 								
地域協議会から意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年5月）></p> <p>防災ベンチ設置については、施行方法について実施団体との打ち合わせをお願いします。また、防災ベンチ設置後に炊き出しを実施と計画されているので、関係団体と連携して実施してください。</p> <p><意見への対応></p> <p>施行については、設置場所である赤江中学校と赤江まち推、建築士会宮崎支部との間で事前に十分な協議打ち合わせを行った。ベンチ設置後の炊き出しについては宮崎農業高校生活文化科の防災時食を準備していたが、残念ながら悪天候のため中止となった。</p>						対応		未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

ウ

事業名	安全に関する訓練及び講座事業	実施年数	11年目								
事業期間	開始：平成24年度	終了：									
地域魅力発信プランとの関連	安心して暮らせるまち、災害に強い安心のまちに沿った事業である。										
目的 (期待される効果)	災害時や事故などが起こった時も適切に対処できるような訓練・講座を行う。										
事業内容・手段	<p>救命講座：救命入門コース（AEDの仕様を含む心肺蘇生法）</p> <p>当初計画では、令和4年10月16日（日）に宮崎市南消防署で実施する予定で49名の方々から参加申し込みを受付けたが、新型コロナウイルス感染症拡大を受け中止となった。</p> <p>その後、新型コロナウイルス感染症状況の警報レベルが引き下げられたのを機に、場所を2カ所に変更して平日に分散開催を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月24日(月) 赤江公民館 ・10月27日(木) 赤江東地区交流センター <p>【講師：応急手当研修センター職員】</p>										
事業費	129,624円										
対象者	赤江地域住民										
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。)</p> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	一般参加者	29人	スタッフ	11人	合計	40人
年 度	令和4年度										
一般参加者	29人										
スタッフ	11人										
合計	40人										
住民の声 (アンケートの結果等)	<p><救命講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明が分かりやすく、又、質問にも丁寧に応えて頂き大変良い勉強となりました。ありがとうございました。充実した研修でした。 ・非常に役立ちました。2回目受講で自信が持てました。 ・救命の必要の重要性、AEDの使用方法も具体的に理解できました。 ・AEDの使い方、周りの安全確認、声掛け、わからないことが知ることが出来ました。 ・先月現場にいて何もできなくてテキパキとされる人がいて勉強したいと思い参加しました。とても良い勉強になりました。 										

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	-	救命講座は、定期的に受ける必要があるため毎年行ってほしいとの声がある。	広報	事業の周知	A	-	募集チラシを新聞折り込みと自治会班回覧で実施した。また、広報誌とFBに実施状況を記載した。
	住民の参加	A	-	新型コロナの影響で当初計画は中止となったが、代替案を準備していたので参加頂けた。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	-	毎年多くの応募があり、継続して取り組む必要性を感じている。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	-	自治会 赤江東地区交流センター 赤江公民館			事業継続の必要性	有	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 令和3年度は、新型コロナ感染症拡大のため中止となった。令和4年度もコロナ禍での開催が想定されたため、消防署での開催ができない場合の代替案（応急手当センターの活用）を策定していたので、スムーズに変更開催ができた。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>							

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

工

事業名	災害救助資機材等設置事業	実施年数	10年目																		
事業期間	開始：平成25年度	終了：																			
地域魅力発信プランとの関連	安心して暮らせるまち、災害に強い安心のまちに沿った事業である。																				
目的 (期待される効果)	地域内に設置している防災資機材等の備品管理、点検、補充。 学校に設置してある資機材について地域住民にも知ってもらうための広報。																				
事業内容・手段	<p>・令和5年1月17日(火)</p> <p>各小学校(宮崎南小、赤江小、恒久小)・中学校(赤江・赤江東中学校)に設置してある資機材の点検を実施。</p> <p>チェック表による数量確認、有効期限の確認を行った。</p> <p>小学校3校(宮崎南小、赤江小、恒久小)に備蓄している救急セット内の使用期限切れ備品5点を交換補充した。</p> <p>今年度は、宮崎市職員、各学校職員も同行した。</p> <p>また、赤江東中学校ではPTAの方々にも参加頂き、備蓄品の説明と意見交換を行った。</p>																				
事業費	36,229円																				
対象者	赤江地域住民																				
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタッフ</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>学校職員</td> <td>5人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>宮崎市職員</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>PTA</td> <td>5人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	スタッフ	7人	7人	学校職員	5人	0人	宮崎市職員	2人	0人	PTA	5人	0人	合計	19人	7人
年度	令和4年度	令和3年度																			
スタッフ	7人	7人																			
学校職員	5人	0人																			
宮崎市職員	2人	0人																			
PTA	5人	0人																			
合計	19人	7人																			
住民の声 (アンケートの結果等)	アンケートは行っていない。																				

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	非常時に備えた配置。	広報	事業の周知	A	A	広報誌・資機材パンフレット。
	住民の参加	A	A	資機材配置のパンフレットを配布したので、住民の認知度は高い。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	海が近い地域なので、非常時には有効な資機材がある。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	学校・赤江地域センター・PTA・自治会・消防団			事業継続の必要性		有
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 今年度は、宮崎市職員、各学校職員も同行することで、備品管理の情報共有ができ、大変良かった。また、赤江東中のPTAの方にご参加いただき意見交換する事で部会の議題にも繋がる為、今後も続けていきたい。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（ 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済
		<p><地域協議会からの意見（ 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

ア

事業名	子育て応援事業	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和元年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	子育てしやすいまちに沿った事業である。														
目的 (期待される効果)	子育て中の親子の交流の場を設け、子育てしやすい環境のづくりのサポートを行う。														
事業内容・手段	<p>今年度は恒久児童館を借りて「クリスマス音楽会」を開催。 地域在住のグループ『ちゃわ』を迎え、オカリナとギターの演奏会を行った。 恒久児童館を利用する子供達だけでなく、地域住民にも募集をかけ参加者を募り、80代の方から小学1年生まで幅広い年齢層の会となった。 演奏者の方が選曲を工夫し、大人も子供も一緒に楽しめる曲も多く、また最後にサンタさんからのクリスマスプレゼントを配り、参加者の皆さんが笑顔溢れるコンサートとなった。</p> <p>「クリスマス音楽会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 12月10日(土) ・協力 恒久児童館 														
事業費	31,618円														
対象者	赤江地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>41人</td> <td>54組</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>49人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和2年度	一般参加者	41人	54組	スタッフ	8人	6人	合計	49人	
年度	令和4年度	令和2年度													
一般参加者	41人	54組													
スタッフ	8人	6人													
合計	49人														
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・一足早いXmasでした。オカリナ演奏が素晴らしいと思いました。 ・久しぶりで子供に接し元気をもらいました。今後も機会がありましたら、又参加したいです。 ・元気な子供達の参加、大きな声で歌って楽しそうでした。ギターもオカリナもすばらしかったです。 ・いろんな歌とかがきけてうれしかったです。 ・さいごにサンタさんが出てきてびっくりした。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	-		広報	事業の周知	A	-	広報誌に掲載することで、赤江地域全体に告知する事ができた。
	住民の参加	A	-	恒久児童館を利用する子供達を中心ではあったが、そこに一般参加者も入り交流ができた。		事業の効果	課題解決への作用	B	-
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	-	今回はまち推会員がメインとなり企画し、児童館と連携を取りながら開催できよかった。			住民の満足度	A	-
	各種団体との連携	A	-	恒久児童館と協力	事業継続の必要性				有
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 地域で活動されている方による演奏会と子供から高齢者の方の参加で大変盛り上がり、アンコールが嬉しく感動した。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[3] 環境に係る事業

ア

事業名	あかえ散策ふれあい事業	実施年数	1年目								
事業期間	開始： 令和4年度	終了： 年度									
地域魅力発信 プランとの関連	魅力発信プラン全プランを網羅した事業である。										
目的 (期待される効果)	3世代間の交流をしながら、地域の環境美化に興味を持ってもらう。										
事業内容・手段	<p>今年度は、八重川堤防をウォーキングし、途中ゴミ拾いや八重川クイズを出題しながら子供から大人まで楽しんだ。さらに、参加者の方に地域の事をより知っていただく為に、途中八重川の歴史に詳しい部会員による解説をしてもらった。また、終了後は環境クイズにも答えてもらい、参加賞を配布。参加者の皆さんは満足していただいたようだった。</p> <p>「クイズに答えて 八重川巡り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 10月30日(日) ・集合場所 赤江地域センター 										
事業費	34,966円										
対象者	赤江地域住民										
参加者数 (内訳)	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>43人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	一般参加者	30人	スタッフ	13人	合計	43人
年度	令和4年度										
一般参加者	30人										
スタッフ	13人										
合計	43人										
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様と一緒に歩いて、八重川の事、川からの見えるもの、ごみを拾っていい時間でした。 ・たくさんの知らなかったこと、何も気がつかず通っていた道に歴史があったことが分かり参加してとても良かったです。 										

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B		開催する場所が偏りがちな為、毎年場所を変えながら、より多くの方が参加できるようにしたい。	広報	事業の周知	A		広報誌に掲載する事で、多くの方に周知する事ができたと思う。
	住民の参加	A		大人から子供まで幅広い年代の方が参加していただいた。		事業の効果	課題解決への作用	B	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		他の部会と合同で事業を進める事ができたので良かった。			住民の満足度	A	
	各種団体との連携	A			事業継続の必要性		有		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 募集告知を広報誌に掲載した為、予算を抑える事ができた。また、上は80代から下は未就園児まで、幅広い年齢層の方の参加で交流ができ、目的が達成できたのではないかと思う。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[6] 伝統文化に係る事業

ア

事業名	あかえ寺子屋事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	伝統文化が光るまちに沿った事業である。														
目的 (期待される効果)	広い世代に歴史や伝統文化を学んでもらう。 地域の方の交流も楽しんでもらえる場を作る。														
事業内容・手段	<p>(1) 五感で楽しむ日本の伝統文化「箏曲と茶の湯」の実施 会 場 寶泉寺 実施時期 11月5日(土) 内 容 宮崎学園中学校高校箏曲部の演奏と茶を堪能した</p> <p>(2) まち歩き 歴史や伝統を五感で感じる「さわやか季節に八重川河口を歩く」 場 所 八重川河口、大淀川河口、津屋原地区周辺 実施時期 11月26日(土) 内 容 番所橋、タンポリ、八重川、大淀川河口、姥ヶ島、津屋原周辺の歴史を探りながらまち歩きを行った。</p>														
事業費	111,845円														
対象者	赤江地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>(1) 38人 (2) 21人</td> <td>(1) 52人 (2) 21人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>(1) 9人 (2) 12人</td> <td>(1) 11人 (2) 12人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>(1) 47人 (2) 33人</td> <td>(1) 63人 (2) 33人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	(1) 38人 (2) 21人	(1) 52人 (2) 21人	スタッフ	(1) 9人 (2) 12人	(1) 11人 (2) 12人	合 計	(1) 47人 (2) 33人	(1) 63人 (2) 33人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	(1) 38人 (2) 21人	(1) 52人 (2) 21人													
スタッフ	(1) 9人 (2) 12人	(1) 11人 (2) 12人													
合 計	(1) 47人 (2) 33人	(1) 63人 (2) 33人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p><五感で楽しむ日本の伝統文化 箏曲と茶の湯></p> <ul style="list-style-type: none"> ・箏曲は聞く機会がないので、とても気持ちよく聞くことができた。 ・箏曲もお茶も日常を少し離れて楽しい時間を過ごせました。 ・素晴らしい演奏だった。日頃の練習の成果が出ていました。今後も頑張っ <p><まち歩き 歴史や伝統を五感で感じる さわやか季節に八重川河口を歩く></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に住んでいるのに詳しいことを知らなかったのとてもよかった。 ・タンポリ(旧津屋原沼)や八重川の歴史を知ることができてよかった。 ・地元を知る機会となりました。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	継続事業として定着してきたと感じる。日本の伝統文化を身近で味わい、また、地元を知る機会となった。	広報	事業の周知	A	A	広報誌に複数の事業を同時に掲載して参加を募った。自治会回覧と学校配布にて告知した。事業報告は広報誌にて行った。
	住民の参加	A	A	コロナ禍での開催となったが、さまざまな年齢の方が参加しそれぞれに楽しんだ。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	推進委員の専門性や人脈を生かしながら、あらためて地域の魅力を知る機会となった。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	地元の方に講師になっていただき地域の歴史を聞く機会になった。お寺や自治会の公民館をお借りした。			有		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 回を重ね地域に定着してきた。昨年引き続きコロナ対策を取りながら行ったが、感染拡大が落ち着いていた時期であり無事に事業が終了しほっとしている。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>							対応	済
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>							対応	未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[8] その他の事業

ア

事業名	広報誌「人・夢・あかえ」の発行事業	実施年数	14年目									
事業期間	開始：平成21年度	終了：年度										
地域魅力発信プランとの関連	各魅力発信プランに沿った事業を広く知っていただくということで、とても関連がある。											
目的 (期待される効果)	赤江地域まちづくり推進委員会の事業内容や活動をより多くの人に発信する。											
事業内容・手段	<p>今年度は、各部会の事業募集をA4版8ページに集約し発行(9月発行分)した為、当初の予算を上回ったが、集約することにより見やすいとの意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の発行(年3回) <p>6月発行...前年度事業報告、令和4年度事業計画・事業予算、赤江のお店紹介、地域ふるさと納税について、案内等【A3版 14,400部】</p> <p>9月発行...事業のお知らせ、各事業参加募集案内、事業報告【A4版8ページ 14,400部】</p> <p>令和5年3月発行...各部会事業報告、案内等【A3版 13,400部】</p>											
事業費	763,321円											
対象者	赤江地域住民											
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタッフ</td> <td>5名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	スタッフ	5名	5名	合計	5名	5名
年度	令和4年度	令和3年度										
スタッフ	5名	5名										
合計	5名	5名										
住民の声 (アンケートの結果等)	・アンケートは行っていない。											

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	各事業への募集を広報誌に掲載し、意見をいつでも募集してニーズの把握に努めている。	広報	事業の周知	A	A	広報誌は自治会班回覧、学校PTA、公民館、新聞折込等で配布している。SNS等も併用している。	
	住民の参加	A	A	各種イベントを告知し、参加者募集について努めている。			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域まちづくり推進委員会の取組みを掲載しており、妥当性は十分にある。					住民の満足度	住民の満足度
	各種団体との連携	A	A	他の団体（県立宮崎農業高校など）との活動も紹介している。	事業継続の必要性		有			
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> これまで事業別に発行していたイベント案内チラシをA4版8ページに集約して発行することにより、横断的に情報を閲覧でき、参加予定が立てやすいように改善した。見やすくなったとの意見をいただいた。									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年5月）> まちづくり推進委員会の広報だけでなく、自治会連合会の広報誌などと一緒に発行できるような方法を検討してほしい。 <意見への対応> 今後対応を検討します。						対応	未・済		
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済		

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

イ

事業名	カレンダーを作ろう事業	実施年数	5年目												
事業期間	開始：平成30年度	終了：													
地域魅力発信プランとの関連	各魅力発信プランに沿った事業を広く知っていただくということで、とても関連がある。														
目的 (期待される効果)	「残したい赤江の風景」をテーマに、カレンダーに地域の写真を掲載して、地域の残したい風景を住民に再発見・再認識してもらう。														
事業内容・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、地域協議会からのご意見を元に「残したい赤江の風景カレンダー」写真テーマを“みんなが残したい赤江の宝もの”と題し、景色だけにとらわれず人・生活の営み・行事など、広く募集。また、応募方法もデータ搬入だけでなく、持込可にするなどの対策もとった。その結果、昨年より倍の応募があり、好評であった。 ・頂いた作品は審査員(写真家の方・宮崎農業高校写真部顧問の先生)を招き、10月29日(土)に審査会を開催。応募総数116点の中から12点を選び掲載した。 ・A2版のカレンダー(12月発行 1000部) 各自治会、学校、赤江地域センター、赤江公民館、赤江東交流センター、城ヶ崎郵便局、月見ヶ丘郵便局などに配布した。 														
事業費	238,569円														
対象者	一般地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募者</td> <td>50人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ (審査員含む)</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>59人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	応募者	50人	21人	スタッフ (審査員含む)	9人	9人	合計	59人	30人
年度	令和4年度	令和3年度													
応募者	50人	21人													
スタッフ (審査員含む)	9人	9人													
合計	59人	30人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは実施していない。 ・概ね好評だった。 														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	昨年同様、カレンダーの配布希望数について、自治会回覧板等を通じて、広く募集した。	広報	事業の周知	A	A	フェイスブックやポスター、チラシ、回覧板、ラジオで周知徹底した。
	住民の参加	A	A	赤江地域だけでなく広く写真を募集し、地域住民に参加していただいた。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域をテーマにした題材で、本委員会の取組みとして妥当である。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	カレンダーの配布先として、自治会、学校、病院、郵便局と連携して活動できた。			有		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 地域住民の意見を取り入れながら、テーマの設定や作品の応募方法など徐々に改善されている。募集チラシで地域の範囲を明確にした。応募数は年々増加傾向にあり、認知度が向上している。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年5月）> 「残したい赤江の風景」のカレンダーは好評で、発行枚数も増加していますが、今後は、テーマやサイズ、応募方法等を検討していただきたい。 <意見への対応> 頂いたご意見を反映させ、テーマを赤江の風景だけに限らず、人・生活の営み・行事など幅広く募集。応募方法もデータの持込やプリント写真の持込など追加をした。</p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

ウ

事業名	地域掲示板設置事業	実施年数	5年目
事業期間	開始：平成23年度	終了：	
地域魅力発信プランとの関連	各魅力発信プランに沿った事業を広く知っていただくということで、とても関連がある。		
目的 (期待される効果)	赤江地域まちづくり推進委員会の事業内容や活動、自治会や地域団体の行事などを地域全体(自治会未加入者など)に広報するため掲示板を設置し、広報活動を活性化させる。		
事業内容・手段	<p>昨年度より希望していた2自治会に新規掲示板を設置した。</p> <p>レイクサイド月見ヶ丘自治会：月見ヶ丘ふれあい公民館駐車場に設置</p> <p>飛江田第一苑自治会：飛江田街区公園に設置</p>		
事業費	381,596円		
対象者	赤江地域住民		
参加者数 (内訳)			
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは実施していない。 ・新設した自治会からは大変喜ばれ活用していただいている。 		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		前年度より、2自治区から要望が届いていた為、希望に沿う事ができた。	広報	事業の周知	A		広報誌や各自治会長へ文書を送るなどして周知した。
	住民の参加	A		掲示板の設置場所を地域住民と一緒に協議して決定した。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		掲示板委は委員会の広報や各自治会の掲示板として活用でき、妥当な取組みである。	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A		各自治会が掲示板を利用でき、要望があれば新たに連携して設置することができる。			事業継続の必要性		有
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 2自治区から要望を受け掲示板を設置することができ、希望に沿う事ができた。設置場所など詳細な打ち合わせができ、非常に満足していただいた。今後も各自治区から要望があれば積極的に掲示板の設置を進めたい。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月 ）></p>						対応	未・済
		<p><意見への対応></p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p>						対応	未・済
		<p><意見への対応></p>							

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	食でつなぐわくわく事業	実施年数	1年目								
事業期間	開始： 令和4年度	終了：	年度								
地域魅力発信プランとの関連	各魅力発信プラン全てを網羅した事業である。										
目的 (期待される効果)	高校生と地域の方々が集うことにより、一層の交流が生まれ、高校生も地域への興味も持つと同時に、より深く関わっていこうという意識の芽生えも期待している。										
事業内容・手段	<p>今年度は「防災かまどベンチ事業」の中で、設置作業参加者へ提供する昼食を農業高校生活文化科・ボランティア部が担当し、何度も試作を重ね、防災の事も考えたカレーやマフィンを調理した。食材は農業高校産を使用し工夫をした。また「防災かまどベンチ火入れ式」でかまどベンチを使用したふるまいも行う予定にしていたが、雨天の為中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災かまどベンチ設置 11月23日(祝・水) <ul style="list-style-type: none"> ※トマトとサバのみそ入りカレー、マフィン2種(金柑・スイート Springs) ・防災かまどベンチ火入れ式 12月17日(土) 雨天の為中止 <ul style="list-style-type: none"> ※段ボールピザ、三食白玉入りぜんざい 										
事業費	71,996円										
対象者	赤江地域住民										
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>18人 (宮崎農業高校15人)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>65人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	一般参加者	47人	スタッフ	18人 (宮崎農業高校15人)	合 計	65人
年 度	令和4年度										
一般参加者	47人										
スタッフ	18人 (宮崎農業高校15人)										
合 計	65人										
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・スパイスから調理されて…と聞いてびっくりしました。とても美味しくいただきました。 ・鯖が入っているカレーを初めていただきました。マフィンも美味しかった。 ・カレーも良かったです、マフィンが大変美味しかった。 ・笑顔も最高でした。 ・高校生にとっても地域の行事に参加できる良い機会になったと思います。 										

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	—		広報	⑤事業の周知	A	—	広報誌に告知掲載
	②住民の参加	A	—				事業の効果	⑥課題解決への作用	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—			⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	—	宮崎農業高校	事業継続の必要性			有	
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 別事業と一緒にすることで、生徒の皆さんの中でテーマも決まり、いろんなアイデアが活かされた食事を提供していただき、参加者からも大変好評であった。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年5月）> 農業高校ボランティア部が主体となって進める事業との事ですが、具体的な内容については、高校側との連携をとりながら、事業を進めてください。 <意見への対応> 今年度はまちづくりから昼食づくりの提案をし、内容等は高校生のアイデアを中心に連携も十分に取りながら進める事ができた。</p>						対応	未・ <input checked="" type="radio"/>	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	AA	- A		広報	事業の周知	AB	- A	広報誌に告知掲載広報誌・Facebookの投稿を使っでの告知
	住民の参加	AA	- A	コロナ禍の中でも開催できるオンラインを使っでの初の試みだった。	事業の効果	課題解決への作用	BA	- A	地域のオンライン普及がまだまだだと感じる事ができた。しかし、今後も活用できるように考えたい。
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	AA	- A	集客する事業が開催困難な時期でも可能なオンラインは今後の事業にも役立つと思う。			住民の満足度	AA	- A
	各種団体との連携	AA	- A	宮崎農業高校宮崎農業高校 ボランティア部	事業継続の必要性				有 有
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 別事業と一緒に Web にて開催をしたが、地域の方々には不慣れな方が多かったように思える。今後 web は日常においても利用できたほうが、様々な利点があると思うので、今後も活動に web を取り込んでいくことで、生徒の皆さま</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年5月・）> > 農業高校ボランティア部が主体となって進める事業との事ですが、具体的な内容については、高校側との連携をとりながら、事業を進めてください。</p>						対応	未・済	
	<p><意見への対応> 今年度はまちづくりから昼食づくりの提案をし、内容等は高校生のアイデアを中心に連携も十分に取っながら進める事ができた。</p>								
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・）> > <意見への対応></p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。

その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

オ

事業名	熱気球から地域を眺めよう事業	実施年数	2年目															
事業期間	開始： 令和3年度	終了： 年度																
地域魅力発信プランとの関連	赤江地域にある3小学校の6年生を対象に小学校での思い出づくりを手助けする事業で、各魅力発信プランに沿った事業を広く知ってもらおううえからも関連がある。																	
目的 (期待される効果)	赤江地域の3小学校の6年生を対象に、自分が通う小学校のグラウンドで熱気球に体験搭乗してもらい、感動と思い出づくりを後押しする。また、花の苗植えを実施し学校の環境美化も考える。																	
事業内容・手段	<p>実施日時： 10月29日(土) 宮崎市立赤江小学校 36名参加 11月12日(土) 宮崎市立恒久小学校 35名参加 令和5年3月11日(土) 宮崎市立宮崎南小学校 87名参加</p> <p>内容：各小学校のグラウンドで熱気球を係留させ、地上20m位まで上昇し自分たちの住んでいる地域を眺めてもらった。 熱気球体験終了後は自分たちの学校を彩る花の植栽を体験する。 尚、宮崎市立宮崎南小学校は11月19日(土)で計画をしていたが雨天の為中止となり、令和5年3月11日に変更し実施した。</p> <p>協力：宮崎大学気球部</p>																	
事業費	503,595円																	
対象者	赤江地域3小学校6年生																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童・教職員・保護者</td> <td>158人</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>学生気球部スタッフ</td> <td>17人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>30人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>205人</td> <td>97人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	児童・教職員・保護者	158人	68人	学生気球部スタッフ	17人	10人	スタッフ	30人	19人	合 計	205人	97人
年 度	令和4年度	令和3年度																
児童・教職員・保護者	158人	68人																
学生気球部スタッフ	17人	10人																
スタッフ	30人	19人																
合 計	205人	97人																
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは早朝の為、取らなかった。 ・保護者の方にもご参加頂き、熱気球への体験搭乗や楽しげに植栽をする子供たちの姿を見て、コロナ禍で様々な行事が中止となるなか思い出づくりができたのではないかと。学校側には非常に好印象を持って頂き、意義のある事業であった。 																	

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	3小学校の児童からの応募があり反響があった。	広報	事業の周知	A	A	3小学校にチラシを配布。学校側が申し込みを集約。ファイスブックで実施状況等報告した。
	住民の参加	A	A	多くの小学校6年生に参加していただいた。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取り組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各学校のグラウンドで実施した。児童はもとより学校、保護者から大変好評だった。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	宮崎大学気球部と連携。			有		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> 参加した児童、学校関係者、保護者には熱気球体験搭乗、環境美化を推進する植栽行事等大変好評だった。 実施時期について検討を要する。（6年生が参加しやすい時期に設定する。） 参加者を募る上からも、PTAと連携を図り幅広く告知し、さらに多くの児童に参加を促していきたい。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

カ

事業名	番屋跡保存に向けた調査事業	実施年数	1年目								
事業期間	開始： 令和4年度	終了：	年度								
地域魅力発信 プランとの関連	伝統文化が光るまちに沿った事業である。										
目的 (期待される効果)	古きまち城ヶ崎には、江戸時代まちに出入りする人々を見張る「番屋」があった。今もその建物が昔の面影を残している。古き建物がなくなりつつある現代、建物の歴史的資産を調査し後世に残していく。										
事業内容・手段	<p>実施日時： 7月30日(土) 第1回番屋跡調査業務 18名参加 10月8日(土) 第2回 " 10名参加 令和5年1月14日(土)~15(日) 第3回 " 31名参加</p> <p>内容：第1回調査業務では、学識経験者を迎えて番屋跡の建物内部調査(壁内部の調査、襖の下張り調査)を実施し、貴重な掛け軸や巻物、書物、置物などを掘り起こした。 第2回、第3回調査では更に精査し、建物内部の清掃、片付けを行い展示物の選別、展示コーナーの設営など行った。今後更に有識者による建物の構造調査を実施しデータ化して後世に残す。</p> <p>協力：九州福祉大学 山内利秋准教授(博物館学)</p>										
事業費	58,505円										
対象者	赤江地域住民										
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係者</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>37名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>59名</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	関係者	22名	スタッフ	37名	合計	59名
年度	令和4年度										
関係者	22名										
スタッフ	37名										
合計	59名										
住民の声 (アンケートの結果等)	アンケートは行っていない。										

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項	
	本年度	前年度			本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		地域の宝の再認識	広報	事業の周知	B	建物公開まで持っていくことが出来なかった
	住民の参加	A		地域住民との共同作業	事業の効果	課題解決への作用	B	まだ、今後につながるまでに行っていない
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		地域の宝の再認識		住民の満足度	B	まだ、今後につながるまでに行っていない
	各種団体との連携	A		宮崎歴史資料ネットワークとの共同作業	事業継続の必要性		有	
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 良かった点：建物の清掃や片付けに地域住民の方も参加いただき、古きよきものを後世に残そうという気持ちを感じられた。 改善点：展示物、展示コーナーなど選定されたが、建物全般を展示できるまでには至らなかった。コロナ禍で学識経験者の招聘ができず作業が思うように進めなかった。今年度は早めに招聘を依頼して早期に着手したい。</p>							
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年5月）> 番屋について、老朽化も進んでおり貴重な資料が存在することですので早急に事業を進めてください。 <意見への対応> 建物内部の調査、整理、収集は概ね終了し展示物、展示設置場所については設定した。しかしコロナ感染症拡大の影響で建物の構造、データ化までは着手できず、次年度へ持ち越すこととなった。</p>						対応	未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応></p>						対応	未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

キ

事業名	まちづくり活動支援事業	実施年数	13年目
事業期間	開始：平成22年度	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	各魅力発信プランに沿った事業を円滑に行うための支援なので全てに関連がある。		
目的 (期待される効果)	まちづくり事業を円滑に行うための費用を負担する。		
事業内容・手段	<p>事務局用パソコン、プリンター、コピー機、防犯パトロール用の車両のリース費用。</p> <p>文具等の購入や、郵便及び切手、封筒購入費</p> <p>AEDのリース費用。</p> <p>各種部会の支援等費用。</p>		
事業費	1,095,361円		
対象者			
参加者数 (内訳)			
住民の声 (アンケートの結果等)	・アンケートは実施していない		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	A	広報誌に事業計画・報告を掲載
	住民の参加					事業の効果	課題解決への作用		
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	事務局で使用する機材のリース代その他に各部会の支援活動費として妥当である			住民の満足度		
	各種団体との連携				事業継続の必要性				有
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 今年度は刈払機を購入したので、今後は各種団体に貸し出すなどして活用させていきたい。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	青パト活動支援及び防犯活動事業
-----	-----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	200,000	
2	合計(A)	200,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	64,950	青パト燃料費 62,780
			お茶代 1,598
			文具 572
2	役務費	25,320	切手代 9,400
			ボランティア活動保険 15,500
			代引き手数料 420
3	備品購入費	36,640	青パトライト 36,640
4	合計(B)	126,910	

収支差額(A) - (B)	73,090
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	防災かまどベンチ事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	100,000	
2	繰越金	200,000	
3	合計(A)	300,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	17,221	お茶代 7,512
			燃料代(ガスボンベ) 2,249
			消耗品 7,460
2	役務費	68,180	賠償責任保険料 1,000
			郵送費 16,800
			かまどベンチ技術指導料 28,600
			運搬費 20,900
			振込手数料 880
3	原材料費	203,500	かまどベンチ材料一式 203,500
4	合計(B)	288,901	

収支差額(A) - (B)	11,099
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	安全に関する訓練及び講座事業
-----	----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	130,000	
2	合計(A)	130,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	66,602	チラシ印刷費(A4版2色刷) 51,084
			お茶代 7,718
			スタッフ弁当 7,800
2	役務費	63,022	新聞折込代(A4版 10,000枚) 37,786
			郵送費 7,436
			切手代 17,800
3	合計(B)	129,624	

収支差額(A) - (B)	376
---------------	-----

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	災害救助資機材等設置事業
-----	--------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	40,000	
2	合計(A)	40,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	34,219	資機材入替え用消耗品 28,819
			資機材倉庫合鍵 1,200
			スタッフ弁当 4,200
2	役務費	2,010	スタッフベストクリーニング代 2,010
3	合計(B)	36,229	

収支差額(A) - (B)	3,771
---------------	-------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	子育て応援事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	50,000	
2	合計(A)	50,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	6,000	演奏者謝礼(2名分) 6,000
2	需用費	25,618	参加者プレゼント代 8,000
			お茶代 11,145
			文具・消耗品 1,073
			スタッフ弁当 5,400
3	合計(B)	31,618	

収支差額(A) - (B)	18,382
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	あかえ散策ふれあい事業
-----	-------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	150,000	
2	合計(A)	150,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	23,966	賞品材料代 15,743
			お茶代 6,392
			消耗品 1,831
2	役務費	10,000	収入証紙代 2,400
			クリーニング代 7,600
3	使用料及び賃借料	1,000	貸室使用料 1,000
4	合計(B)	34,966	

収支差額(A) - (B)	115,034
---------------	---------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	あかえ寺子屋事業
-----	----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	250,000	
2	合計(A)	250,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳	
1	報償費	43,000	謝礼箏曲(2H×1名)	12,000
			謝礼茶道補助(4名)	12,000
			謝礼茶道補助(2H×1名)	6,000
			謝礼箏曲(4名)	4,000
			謝礼まち歩き(3名)	9,000
2	需用費	51,635	茶道材料・菓子代	15,123
			まち歩き休憩用菓子代	8,200
			資料代	6,000
			スタッフ弁当代	19,116
			会議・事業用お茶代	3,196
3	役務費	1,410	振込手数料	1,410
4	費用弁償	2,800	茶道補助員交通費(バス代)	2,800
5	使用料及び賃借料	13,000	茶道具レンタル・会場使用料	13,000
6	合計(B)	111,845		

収支差額(A) - (B)	138,155
---------------	---------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	広報誌「人・夢・あかえ」の発行事業
-----	-------------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	600,000	
2	合計(A)	600,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	521,000	チラシ印刷費 517,572 A3版14,400枚×1回、A3版13,400×1回 A4版8頁14,400枚×1回
			取材用菓子 3,428
2	役務費	242,321	新聞折込代 220,013 A3版10,800枚×1回、A3版10,000×1回 A4版8頁10,800枚×1回
			郵送費 22,308
3	合計(B)	763,321	

収支差額(A) - (B)	-163,321
---------------	----------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	カレンダーを作ろう事業
-----	-------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	250,990	
2	特例交付金	9,010	
3	合計(A)	260,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	12,000	謝礼(2名分) 12,000
2	需用費	199,610	写真募集チラシ・ポスター印刷代 74,800 (チラシ1,000枚、ポスター15枚)
			カレンダー印刷代(1,000枚) 88,000
			賞品(QUOカード) 15,990
			賞品(QUOカード) <u>特例交付金使用</u> 9,010
			審査員お礼品 2,776
			スタッフ弁当 2,770
			消耗品 6,264
3	役務費	26,959	郵送費 26,959 (募集チラシ・カレンダー郵送)
4	合計(B)	238,569	

収支差額(A) - (B)	21,431
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	地域掲示板設置事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	100,000	
2	繰越金	300,000	
3	合計(A)	400,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	3,196	お茶代 3,196
2	役務費	378,400	掲示板2基 378,400
3	合計(B)	381,596	

収支差額(A) - (B)	18,404
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	食でつなぐわくわく事業
-----	-------------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	170,000	
2	合計(A)	170,000	

(2) 支出の部 (単位: 円)

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	71,996	材料代 51,514
			消耗品 18,884
			お茶代 1,598
2	合計(B)	71,996	

収支差額(A) - (B)	98,004
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	熱気球から地域を眺めよう事業
-----	----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	730,000	
2	合計(A)	730,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	
1	報償費	66,000	パイロット(3校分) 18,000
			地上係員(5名・3校分) 48,000
2	需用費	97,696	気球用プロパンガス(3校分) 81,000
			会議、事業用お茶 1,598
			スタッフ弁当代(2校分) 15,098
3	役務費	97,224	保険代(熱気球3校分) 18,000
			気球運搬費(3校分) 75,000
			スタッフベストクリーニング 3,344
			振込手数料 880
4	使用料及び賃借料	150,000	気球機材 150,000
5	委託費	92,675	植栽関連一式(2校分) 92,675
6	合計(B)	503,595	

収支差額(A) - (B)	226,405
---------------	---------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	番屋跡保存に向けた調査事業
-----	---------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	399,430	
2	繰越金	140,570	
3	合計(A)	540,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	24,000	謝礼(番屋跡調査・学識経験者)
2	需用費	34,505	文具、材料費 9,246
			お茶代 15,679
			スタッフ弁当 9,580
3	合計(B)	58,505	

収支差額(A) - (B)	481,495
---------------	---------

(様式第6号)

事業別収支計算書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり活動支援事業
-----	-------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	940,000	
2	繰越金	240,000	
3	合計(A)	1,180,000	

(2) 支出の部 (単位:円)

番号	科目	金額	内訳
1	使用料及び賃借料	666,646	コピー機/PC/プリンターリース 273,456
			車両リース 313,990
			AEDリース 79,200
2	需用費	235,208	燃料費 25,296
			文具(事務用品他) 37,788
			消耗品 172,124
			(コピー用紙/インク/会議用菓子他)
3	役務費	176,707	郵送費 17,017
			通信費(インターネット) 36,960
			通信費(電話) 63,072
			保険料 57,018
			手数料 2,640
4	備品購入費	16,800	刈払機 16,800
5	合計(B)	1,095,361	

収支差額(A) - (B)	84,639
---------------	--------

(様式第7号)

令和5年3月31日現在

積立金管理状況報告書

赤江地域自治区
赤江地域まちづくり推進委員会

積立金名称	掲示板修繕費等積立基金
-------	-------------

積立金の収支

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	積立金	1,198,991	
2	利息	10	
3	取崩額	0	
4	合計(A)	1,199,001	

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和5年5月29日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大字田吉5730-3
名 称 赤江地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名 会長 佐藤 正信
電話番号 (0985)51-5122

令和4年8月30日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において1,126,964円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

繰越金内訳

基礎交付金 1,126,964円
特例交付金 0円

添付書類

令和4年度 収支決算書写し